

挑みつづける、変わらぬ意志で。



第3期東商環境アクションプラン (2025 – 2027)

2025年7月
東京商工会議所・産業政策第二部

1. 会員企業による環境アクションの支援

- (1) 「Tosho攻めの脱炭素」事業の推進スライド③
- (2) 環境関連イベント・セミナーの開催
(都・区・その他関連団体との連携を含む)スライド④
- (3) 環境関連情報の発信 (WEB・メルマガ・e c o検定)スライド⑤

2. 東商自身による環境アクションの推進

- (1) 職員の環境意識・知識向上 (e c o検定)スライド⑥
- (2) ペーパーレス化の継続スライド⑦
- (3) 資源循環を意識した取組スライド⑧
- (参考資料) 本部オフィス (丸の内二重橋ビル) の省エネ取組スライド⑨

1. 会員企業による環境アクションの支援

(1) 「Tosho攻めの脱炭素」事業の推進

産業政策第二部
(各支部)

推進

③

【目標（2025～2027）】

- ・東商脱炭素“塾”参加企業数**90社以上**（3カ年合計）を旨指します<23・24年計55社参加>
- ・東商脱炭素“市場”イベントへの参加者数**450名以上**（3カ年合計）<23・24年計281名参加>
- ・東商脱炭素“市場”「つながるマッチングサイト」閲覧数**1.2万件以上**（3カ年合計）<23・24年計7,836件>
- ・東商脱炭素“ラボ”イベントへの参加者数**130名以上**（3カ年合計）<23・24年計85名参加>

【2024年度の実施状況】

- ・“塾”（7～8月）：22社参加
- ・“市場”イベント：「グリーンテックマッチング会（9月）」169名、「省エネ・脱炭素支援サービス展示会（3月）」49名参加
- ・“ラボ”イベント：「工学院大学・東京電機大 脱炭素分野の新技术発表&情報交換会（8月）」43名参加
- ・様々なイベント、メディアでの周知等を実施



東商脱炭素“塾”（24年7～8月）



グリーンテックマッチング会（24年9月）



中堅中小企業向けサステナビリティ経営実践セミナーに登壇し当事業をPR（24年10月）

1. 会員企業による環境アクションの支援

(2) 環境関連イベント・セミナーの開催

政策系・事業系の部署、総務
統括部、国際部、各支部

推進

④

【目標（2025～2027）】

- ・ 東商主催・共催による **環境関連のイベント・セミナーを220回以上**（3カ年合計）開催、
参加者数13,000人以上（3カ年合計）を目指します
 <第1期実績：73回・4,938人参加、第2期実績：193回・11,858人参加>
- ・ 関東商工会議所連合会、多国間・二国間経済会議、青年部・女性会における環境関連テーマに関するセミナー開催や
 イベント等の実施 **36件以上**（3カ年合計）<第1期実績：目標未設定、第2期実績：30件>
- ・ 都や区・その他関係団体との連携（事業協力、周知協力、事業参加など） **300件以上**（3カ年合計）
 <第1期実績：目標未設定、第2期実績：287件>

「脱炭素経営セミナー」を開催

先進企業トップが講演／約200名が参加



菊川工業 宇津野会長 大川印刷 大川社長 IKEUCHI ORGANIC 池内代表

脱炭素経営セミナー（24年4月）

無料オンデマンド配信

中小企業向け
脱炭素経営セミナー 申込受付中

エネルギー・CO₂排出量見える化からつなげる脱炭素経営

配信期間：令和7年1/17(金)～2/6(木)
▶ お申し込み

基調講演
環境省 地球環境局地球温暖化対策課 脱炭素ビジネス推進室 課長補佐 峯岸 律子 氏

講演
株式会社エスコ ソリューション事業本部 第2営業部 環境ソリューションチーム 本田 耕道 氏

「脱炭素経営に向けた第一歩～省エネルギー-エネルギー見える化の手法と見落としがちな削減策-」

支援紹介
「Tosho攻めの脱炭素」およびCO₂見える化サポート（見えサポ）のご紹介
-東商工会議所-

クール・ネット東京との共催セミナー

東商工会議所 攻めの脱炭素 日本商工会議所

<初開催> 脱炭素の取り組みの実例が学べる！ シンポジウム「中小企業の“攻め”の脱炭素経営」

2024年～2025年3月の期間を通じて、今年2月「環境共生」地球温暖化対策推進（特に自治体関係）のなか、大企業のみならず中小企業においても、脱炭素-推進の取組が顕著な事例が紹介されます。

今般、日本商工会議所・東京商工会議所では、「攻め」の脱炭素経営の実例の紹介を中心としたシンポジウムを開催いたします。第一部は脱炭素経営の第一人者で、多くの政府関係機関に就任されている高村 裕かり氏、第二部のパネリストからは、脱炭素取組の成功事例（見える化によるエネルギー削減、生産物の向上や生産性の向上、省エネと生産性の向上）となる自社独自のPR活用など、自社の競争力を高めるチャンスとして、積極的に活用している企業社が登壇します。脱炭素の第一歩として、是非ご参加ください。

第一部 基調講演
「中小企業のための“攻め”の脱炭素経営 ビジネスチャンスとしてのGX」
東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村 裕かり 氏

第二部 事例紹介＆パネルディスカッション
脱炭素経営を推進する企業3社から、取組の成功事例について、Tosho攻めの脱炭素-事業の活用術など、脱炭素経営に取り組む企業経営者から話を伺います。

パネリスト： 菊川工業 (株) 宇津野 真彦 会長 (東京商工会議所 副会長の職を兼任) / (株) 富士通 中江 久人 社長 (東京商工会議所 副会長の職を兼任) / 甲子化学工業 (株) 南坂 徹也 企画開発部長 (大塚商工会議所 副会長の職を兼任)

開催日時 2025年7月30日(水) 10:00～12:45
開催場所 東京商工会議所 洗心ホール 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2 丸の内二重橋ビル5階

参加費 参加費は無料
※参加方法は、会場申込、ライブ配信参加のいずれか（いずれも事前申し込みが必要）
※参加費は150円 ※会場参加は無料、ライブ配信に会員登録が必要です。

【会場参加者特典】2025年度東商脱炭素“特”へ優先申込可能！（東商会員限定）

お問合せ先 日本商工会議所・東京商工会議所 産業政策第二部 総務-エネルギー担当
電話 03-3283-7376 メール support@tokyo-cci.or.jp（受付時間10:00～17:00 土日祝日除く）
※主催 日本商工会議所・東京商工会議所

シンポジウム「中小企業の“攻め”の脱炭素経営」（25年7月30日開催予定）

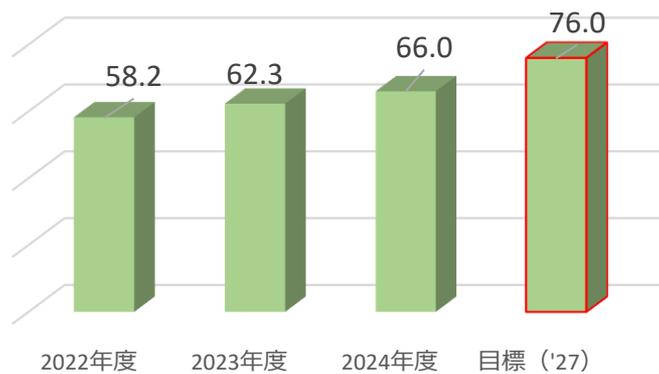
【目標 (2025~2027)】

- ・ **東商Webサイトにおける環境関連のコンテンツ (事例集等) を充実**させます
- ・ **メルマガ「環境・エネルギーinfo」の登録者数5,000者**を目指します <2024年度末時点で3,500者>
- ・ **eco検定 (環境社会検定) を推進し、累計受験者76万人、累計合格者45万2千人**を目指します <2024年度実績：累計受験者66万人、累計合格者39万5千人>
- ・ 経営指導員・職員向けの研修にカーボンニュートラル・省エネ等に関するテーマを盛り込み、**国・都の補助金や事業なども含め中小企業の脱炭素関連支援施策の利用促進**を図ります

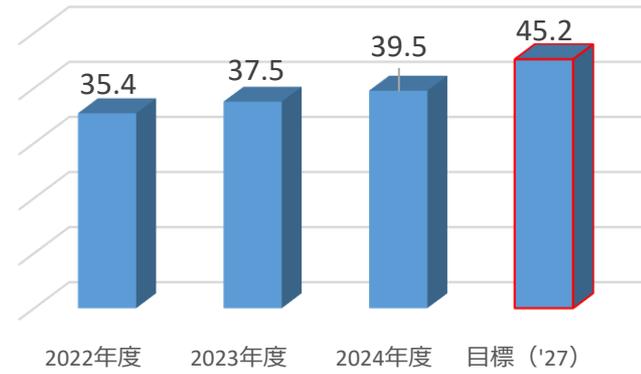


「Tosho攻めの脱炭素」ポータルサイト

「eco検定」累計受験者数 (万人)



「eco検定」累計合格者数 (万人)



2. 東商自身による環境アクションの推進

(1) 職員の環境意識・知識向上 (e c o 検定)

全職員
(産業政策第二部、検定事業部、
人事課)

推
進

⑥

【目標 (2025~2027)】

- ・ 職員の **e c o 検定取得率※60%** を目指します
※第2期までは、e c o 検定「受験率」を目標としていたが (2024年度実績：約2割)、より実効性を高めるために目標値を e c o 検定「取得率」に変更する。
- ・ 職員の環境問題に対する関心を高め、学習用動画の提供など職員の学びの機会を増やします
- ・ 環境問題に対する **職員向けアンケート** を実施し、実態把握と進捗管理に努めます



【具体的な取組み内容】

- ・ 各部署に公式テキストを1冊配布、サイネージ等での情報提供
- ・ e c o 検定受験料の補助・合格祝金の支給、公式テキスト等学習教材の無償提供を実施
- ・ 経営指導員研修等で環境分野の支援策情報を紹介するとともに、脱炭素“塾”への職員のオブザーブ参加や職員向け学習用動画を提供するなど、職員の環境問題に対する意識を向上



e c o 検定(環境社会検定試験)®公式テキスト



公式問題集

2. 東商自身による環境アクションの推進 (2) ペーパーレス化の継続

全職員（オフィス環境部・
産業政策第二部、総務統括部、
委員会等所管部署）

推進

⑦

【目標（2025～2027）】

- ・本部主要会議のペーパーレス化を継続します
＜2024年度実績：100%（常議員会、正副会頭会議、特別顧問会議、委員会）＞
- ・本部複合機による印刷数を第2期実績から10%削減します
＜第1期実績：年平均381万、第2期実績：年平均246万、今期目標：年平均220万（面）＞
- ・ペーパーレス化の取組を2・3支部の主要会議に拡大します

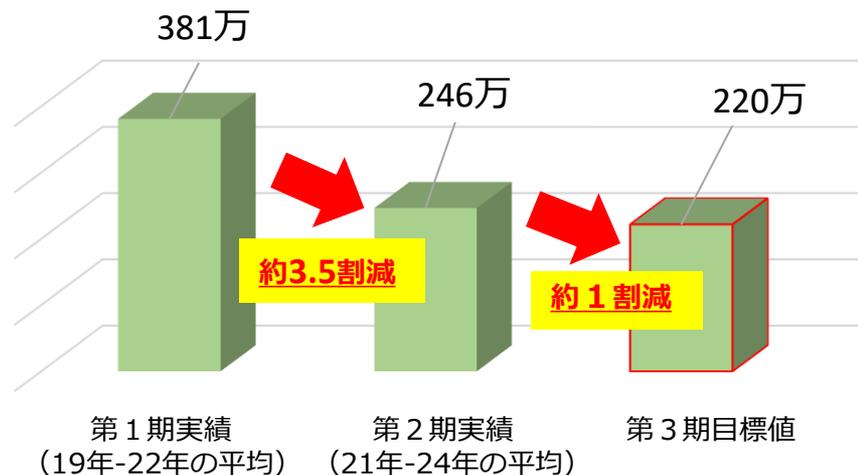
【具体的な取組み内容】

- ・複合機使用状況の継続的な精査・分析を通じ、特に使用枚数の多い業務について、現場実態を踏まえたペーパーレス化を重点的に検討・実施（外付けモニターの利用促進、支部における会議でのタブレット使用促進など）



タブレットを使った常議員会の様子

本部複合機印刷数（面）



2. 東商自身による環境アクションの推進

(3) 資源循環を意識した取組

全職員（産業政策第二部、総務統括部、オフィス環境部）

推進

⑧

【目標（2025～2027）】

- ・ **食品ロス削減**に努めるべく、食事つきのイベントでは呼びかけを励行します
- ・ **東商エコリーグ**※等を活用し **古紙回収・分別回収**に努めます
 ※当所と（公社）東京都リサイクル事業協会が協力して、中小企業から出る古紙を回収、再利用する仕組みです
- ・ オフィスや家庭において、**リチウムイオン電池を使用した製品の廃棄時**には、**分別を徹底**するようポスターの張り出しやイントラ等で、職員に周知します
 ※近年リチウムイオン電池の誤った処理方法による火災が発生し、廃棄物処理施設が稼働停止となることが問題視されています。



東京都HPより

当所は、24年度に一般財団法人省エネルギーセンターによる**省エネ最適化診断を受診**

同規模のオフィスに比べ省エネが進んでいるとの評価を受け、引き続き省エネ活動に取り組みます

【具体的な取組み内容】

- ・本部オフィスの20時消灯の実施
- ・残業場所の制限（人員集中）・効率化
- ・空調の利用効率の向上
- ・クールビズ・ウォームビズの実施
- ・テレワーク制度の活用



本部オフィスにおける年間電力消費量（kWh）



本部オフィスの冷暖房には「**カーボンニュートラルLNG**」が使用されています。



本部オフィス（丸の内二重橋ビル）では、集中管理された高効率な熱源システムで製造された冷水・温水・蒸気などを複数の建物に供給する「地域冷暖房」システムにより、冷暖房が実施されています。これら**冷暖房に使用される都市ガスは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO2クレジットで相殺（カーボン・オフセット）された「カーボンニュートラルLNG（CNL）」**となっています。

挑みつづける、変わらぬ意志で。



「東商環境アクションプラン」(2025-2027)

2025年7月

発行 東京商工会議所

〒100-0005 千代田区丸の内3-2-2

電話 03-3283-7836

※内容について東京商工会議所の許可のない転載・転用を禁じます